

透析患者と非透析患者における腰部脊柱管狭窄症に対する腰椎手術の比較検討

研究協力のお願い

当院では、透析患者と非透析患者における腰部脊柱管狭窄症に対する腰椎手術の効果や合併症に関する研究を行っております。調査の意義や目的、研究方法は以下の通りです。「オプトアウト」という手法により、患者さん皆様から直接の御同意はいただかず、このお知らせにより御同意を頂いたものとして扱われます。患者さん皆様方には研究内容をご理解いただき、本研究へご協力頂きますようお願い申し上げます。

もしこの研究への参加をご希望されない場合、また途中で研究参加を取りやめる場合、その他この研究に関する問い合わせは、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

1. 研究の概要

研究対象者：当院整形外科で腰椎手術を受けた方

2. 研究の意義及び目的

一般的に透析患者さんは高齢化や脊柱管内へのアミロイド沈着等の要因により、腰部脊柱管狭窄症を代表とした腰椎疾患の合併を認める事が多く、進行すると腰痛、両下肢の痛みや痺れ、間欠跛行が増悪し、歩行困難となるため、腰椎手術が必要となります。今回透析患者さんに対しても手術加療が安全に施行出来るかどうか、透析患者と非透析患者に対する腰椎手術の術後成績を比較検討する事を目的としました。

3. 研究方法

手術を受けた患者さんに対し、特別な侵襲や介入がない中で 6 か月間観察し、手術の効果や合併症などを評価します。

4. 個人情報について

この研究に当たり、個人が特定できるような情報は使用されず、また研究発表時にも個人情報は使用されません。

5. 問い合わせ先

医療法人社団明生会理事長 田畠 祐輔

連絡先：043-224-8201 (医療法人社団明生会 三橋明生病院)